

**APAMAN**

FY2020 1Q FINANCIAL RESULTS

2020年9月期 第1四半期 決算補足資料

2020年1月31日 (金)

A P A M A N 株式会社

JASDAQ : 8889



## Sharing economy

前年同期と比べ、増収・増益

Co-working“fabbit”の会員数が大幅に増加



## Platform

前期同期と比べ、減収・減益

ビジネスモデル変更に伴い



## Cloud technology

前期同期と比べ、増収・減益

FC加盟企業支援による

# 1. 先行投資（Sharing economy）の状況

# 1. Co-working



fabbit Global Gateway "ACROS Fukuoka"

## Co-working

2019年9月末

**45**カ所



2019年12月末

**45**カ所

※上記数値は契約ベース/拠点は、直営・FC・出資会社含む

# 1. Co-working

## 会員数の大幅増加



会員数

**7,202**人



拠点数

**45**カ所



マッチング件数

**108,964**件



イベント開催(実績)

**2,745**回

※2019年12月末時点。

- ・会員数…fabbit、COMPASS、及びグループ出資会社を含む
- ・拠点数…設計施工中を含む。グループ出資先のWorkbarを含む
- ・マッチング件数(紹介)…会員同士の紹介件数累計/各種イベントや懇親会などは、1出席者に2人を紹介にて算出
- ・イベント開催(実績)…fabbit、COMPASS、Fukuoka Growth Next及びグループ出資する会社の実績累計/大規模イベントから小規模イベントまで全てを含む

# 1. Co-working (TOPICS)

## fabbit Global Gateway “San Francisco” 2020年1月オープン



# 1. Co-working（行政・地方自治体との連携）

## 官民共働型施設・地方自治体の補助事業



2017年4月～2019年3月

官民共働型施設  
「Fukuoka Growth Next」



2017年12月～運営中

東京都多摩ものづくり型創業支援施設整備補助事業  
「fabbit 八王子」



2018年6月～運営中

官民共働型施設  
「COMPASS小倉」



2019年7月～運営中

イノベーション拠点立地促進補助制度  
「fabbit 神戸三宮」



アメリカ合衆国商務省経済開発局・HTDC（ハワイ技術開発公社）補助事業  
「fabbit Hawaii」



2019年10月OPEN

# 1. Co-working（特徴）

## fabbit が提供する主な支援プログラム

- ◆ AIによるビジネスマッチング
- ◆ スタートアップなど企業の成長支援
- ◆ 勉強会やイベントを通じたリアルな交流支援
- ◆ クロスボーダー支援
- ◆ コワーキング・レンタルオフィスの提供

※開発中の支援プログラム含む



# 1. Co-working (連携実績)

## 国内外の主なエコシステムプレイヤー等と続々と連携



※上記は、2018年12月5日に東京で開催された「fabbit Conference 全国大会2018」、2018年12月6日に福岡で開催された「Global Innovators in Startup City Fukuoka」の様子

## 2. Parking



### Parking

2019年9月末

**3,589** 台

↓ + 11 台

2019年12月末

**3,600** 台

※上記数値は契約ベース

### 3. Share Cycle

現在12の地方自治体と連携し、Share Cycle を提供しております。

今後は、Share Cycle に加え、マンションの住人が自転車を共有する「Share Cycle Residence」を推進します。2019年12月末現在、Share Cycle・Share Cycle Residence・Cycle share space合計927台を運営しております。

#### Share Cycle



#### Share Cycle Residence



協定書締結: 福津市・飯塚市・古賀市・宗像市・那珂川市・台東区・大和市・千葉市・さいたま市・伊仙町・徳之島町・天城町

※上記数値は契約ベース

## 2. 2020年9月期 第1四半期 連結実績

# 1. 連結決算主要数値推移（前年同期比）

（単位：百万円）

	19 / 9期 1Q	20 / 9期 1Q	備考	前年同期比	
				金額	率
売上高	11,290	10,630	主に店舗売上減少（Platform）	▲660	▲5.8%
売上総利益	2,647	2,331	同上	▲315	▲11.9%
販管費	2,470	2,298	主に店舗数減少	▲172	▲7.0%
営業利益 （営業利益率）	177 (1.6%)	33 (0.3%)	同上	▲143	▲81.2%
経常利益	▲2	▲198	主に持分法による投資損失 ▲0.7億円	▲195	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲1,208	▲325	主に固定資産除却損、減損	+ 882	—
EBITDA*	416	237		▲179	▲42.9%

\* EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費

## 2. 連結貸借対照表主要数値（前期末比）

（単位：百万円）

資産の部	19/9期 期末	20/9期 1Q	増減	備考
<b>流動資産</b>	<b>15,122</b>	<b>13,878</b>	<b>▲1,244</b>	
現金及び預金	7,959	6,633	▲1,325	
受取手形及び売掛金	1,669	1,792	+123	
営業投資有価証券	1,105	1,458	+352	
その他	4,388	3,993	▲394	短期貸付金▲358
<b>固定資産</b>	<b>18,807</b>	<b>18,496</b>	<b>▲310</b>	
有形固定資産	4,299	4,242	▲57	
無形固定資産	8,667	8,484	▲183	
のれん	6,741	6,567	▲173	
その他 無形固定資産	1,925	1,916	▲9	
投資その他の資産	5,839	5,769	▲70	
<b>総資産</b>	<b>33,929</b>	<b>32,374</b>	<b>▲1,555</b>	

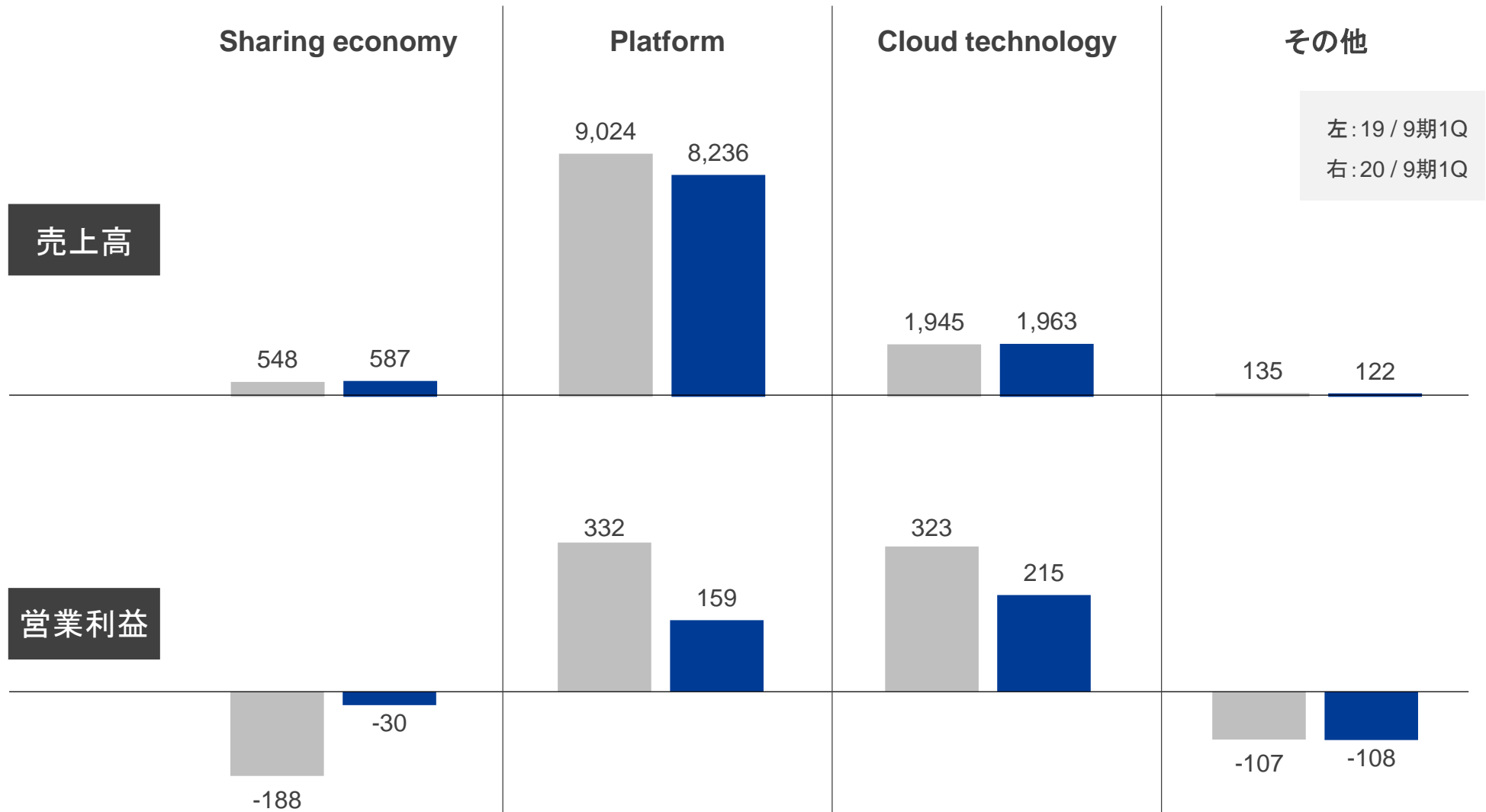
負債・純資産の部	19/9期 期末	20/9期 1Q	増減	備考
<b>流動負債</b>	<b>10,223</b>	<b>10,040</b>	<b>▲183</b>	
買掛金	909	980	+71	
短期借入金*	2,053	2,268	+215	
その他	7,260	6,791	▲469	未払金▲327
<b>固定負債</b>	<b>18,844</b>	<b>18,234</b>	<b>▲609</b>	
長期借入金	16,076	15,564	▲511	
長期預り敷金・保証金	1,642	1,617	▲25	
その他	1,125	1,052	▲72	
<b>負債合計</b>	<b>29,068</b>	<b>28,274</b>	<b>▲793</b>	
<b>資本金</b>	<b>7,983</b>	<b>7,983</b>	<b>—</b>	
<b>純資産</b>	<b>4,861</b>	<b>4,099</b>	<b>▲761</b>	
<b>負債・純資産 合計</b>	<b>33,929</b>	<b>32,374</b>	<b>▲1,555</b>	

\*一年内返済予定の長期借入金を含む

### 3. 2020年9月期 第1四半期 セグメント実績

# 1. セグメント別売上高・営業利益（2期比較）

（単位：百万円）





## 2. Sharing economy事業（2期比較）

（単位：百万円）

	19/9期 1Q	20/9期 1Q	前年同期比	
			金額	率
売上高	548	587	+38	+7.0%
営業利益	▲188	▲30	+158	-

### Co-working



拠点数

45カ所 → **45**カ所

### Parking



Parking台数

3,589台 → **3,600**台

### Share Cycle



契約台数

905台 → **927**台

※上記数値は契約ベースです／ecobikeは提携店台数含む

### 3. Platform事業（2期比較）

（単位：百万円）

	19/9期 1Q	20/9期 1Q	前年同期比	
			金額	率
売上高	9,024	8,236	▲787	▲8.7%
営業利益	332	159	▲173	▲52.1%

#### 店舗



FC契約直営店舗数

92店 → **87** 店

#### PM



管理戸数

87,970戸 → **86,506** 戸

#### 主な付帯・関連サービス

保険

保証

緊急駆付け

電気・ガス

送金・振込

通信

鍵交換

NHK加入取次

CATV加入取次

付帯・関連サービス粗利

508百万円 → **339** 百万円

※直営店のFC化を段階的に進めています。

# 4. Cloud technology事業（2期比較）

（単位：百万円）

	19/9期 1Q	20/9期 1Q	前年同期比	
			金額	率
売上高	1,945	1,963	+18	+0.9%
営業利益	323	215	▲108	▲33.4%

## Cloud technology 一例

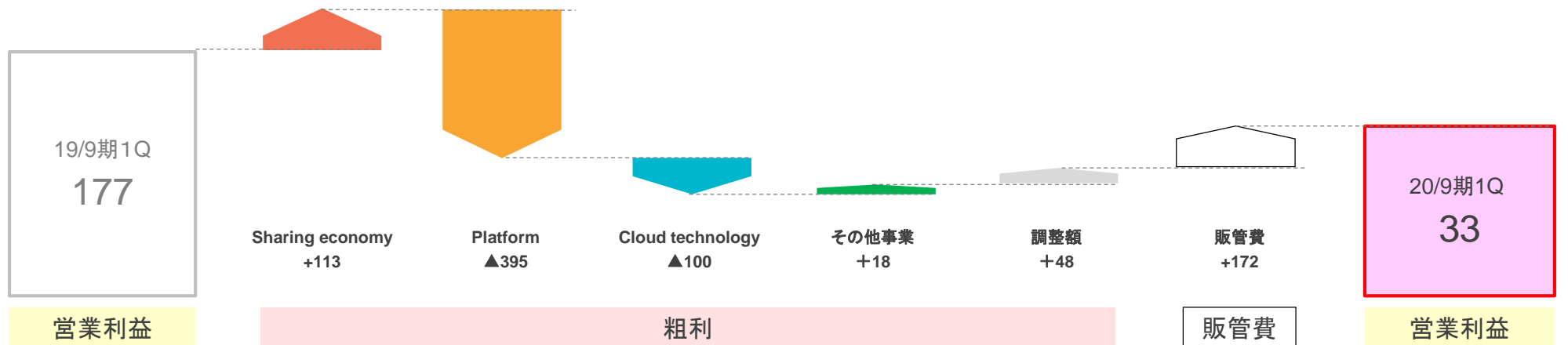


※シェアリングキーは出資企業の商品を取り扱っております。

# 5. セグメント別営業利益分析（前年同期比）

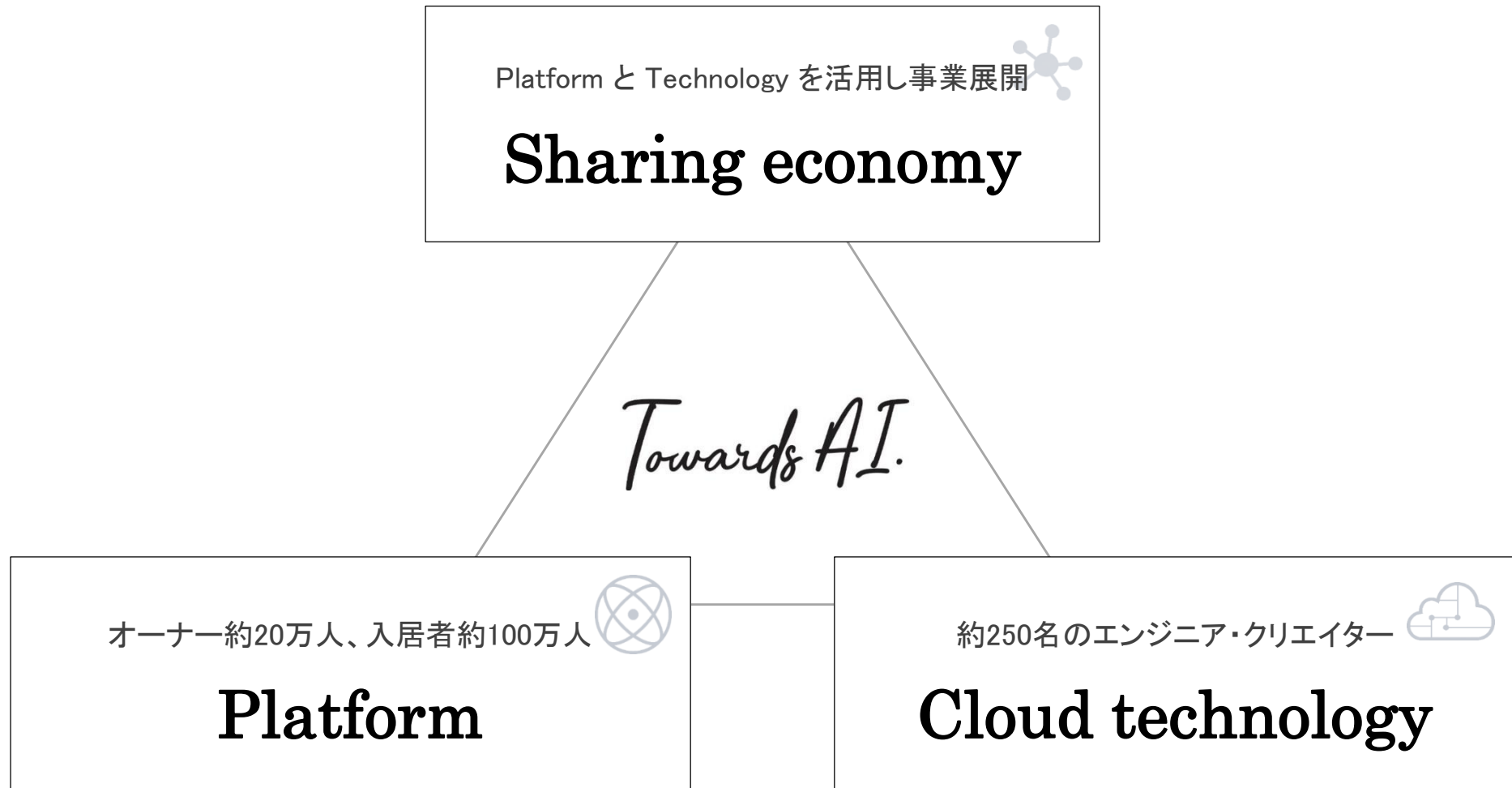
（単位：百万円）

	19/9期 1Q			20/9期 1Q			前年同期比		
	売上高	売上総利益	率	売上高	売上総利益	率	売上高	売上総利益	率
Sharing economy	548	29	5.3%	587	142	24.3%	+38	+113	+19.0%
Platform	9,024	2,291	25.4%	8,236	1,895	23.0%	▲787	▲395	▲2.4%
Cloud technology	1,945	567	29.2%	1,963	466	23.8%	+18	▲100	▲5.4%
その他事業	135	24	18.0%	122	42	34.9%	▲12	+18	16.9%
調整額（消去または全社）	▲363	▲264	—	▲279	▲216	—	+83	+48	—
合計	11,290	2,647	23.5%	10,630	2,331	21.9%	▲660	▲315	▲1.5%
販管費（販管费率）	2,470		21.9%	2,298		21.6%	▲172		▲0.3%
営業利益（営業利益率）	177		1.6%	33		0.3%	▲143		▲1.3%



## 4. 2020年9月期 連結業績予想

# 1. APAMANグループの強み



※Platformの数字はFC加盟企業を含む  
※Cloud technologyの従業員数はグループの合計人数

## 2. 連結決算主要数値業績予想（2期比較）

（単位：百万円）

	19 / 9期 実績	20 / 9期 予想	前年同期比	
			金額	率
売上高	45,934	45,000	▲934	▲2.0%
営業利益 (営業利益率)	2,055 (4.5%)	2,000 (4.4%)	▲55 (▲0.1%)	▲2.7%
経常利益	729	1,400	+670	+91.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	272	450	+177	+65.1%

## 5. 配当方針



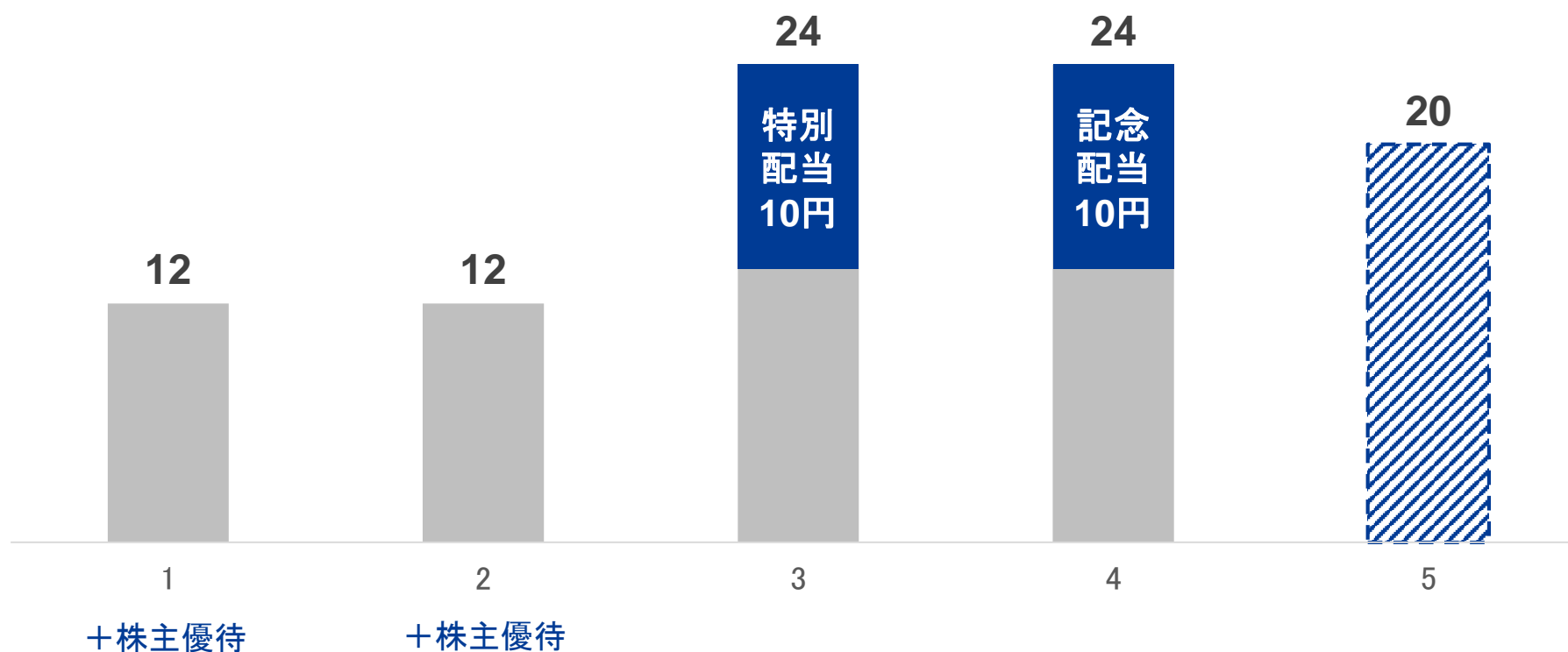
# 1. 配当方針

株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置づけており、業績の進展等を勘案しながら利益還元を努めることを基本方針としております。当社は2019年10月20日をもちまして、お陰様で20周年を迎えることができました。日ごろのご支援、ご協力に感謝の意を表し、普通配当に加え、1株当たり10円の創立20周年記念配当を行いました。

また、2020年9月期の予想については、過去2期の特別配当、記念配当の実施及び、キャッシュフローや財務状況等を慎重に協議した結果、1株当たり20円といたしました。

■ 1株あたり配当金推移

単位：円



## 2. 会社概要

商号	APAMAN株式会社
代表取締役社長	大村 浩次
資本金	79.8億円（2019年9月30日現在）
連結従業員数	1,047名（2019年9月30日現在）
本社所在地	東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル
事業内容	Sharing economy Platform Cloud technology
証券コード	8889 (JASDAQ スタANDARD)



# APAMAN

## 本資料に関する注意事項

本資料の表示数値は金額に関しては切り捨て、パーセンテージ表示については四捨五入等、端数計算により行っているため、算式に基づき算定される数値とその結果として記載される数値は必ずしも一致しない場合があります。本資料に記載されている経営戦略、計画や見通し等は、過去の事実を除いて将来の予測であり、現時点において入手可能な情報や合理的判断の根拠とする一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これらの見通しとは大きく変動する場合があります。本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。

また、掲載内容については、細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の内容が正確であるかどうか、有用であるかどうか、更新時期が適切であるか等について当社は一切保証するものではありません。また、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料は、APAMAN株式会社および当社関係会社の事業の概要へのご理解をいただくために作成されたものであり、投資の勧誘または斡旋を行うものではありません。投資に関するご判断はお客様自身の責任で行われますようお願い申し上げます。

本資料は、現時点での最終数値であり、過去の決算説明資料の数字を保証するものではありません。